
ショートショート：「全自動」

(^ ω ^) ブーン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ショートショート…「全自動」

【Nコード】

N6517G

【作者名】

(^ ω ^) ブーン

【あらすじ】

ある日、「HS」という会社はすごいロボットを作り上げた。そして、一般販売されたのだが・・・。

「やった、ついにできたぞ！」

家庭機器などを主に販売している大手会社、「HS」は、一年前からあるものを発明していた。

そのあるものとは、つまり、「ロボット」である。ロボットを作るなら、とつくの昔に「HD」がやっているし、「KU」や「ST」などの大手会社の他にも、いくつかの中小企業が作っていたから、普通のもののわけがなかった。

この会社のとある社員Sは、ずっと前からあることについて困っていた。

Sは、非常にめんどくさがりやである。タバコに火をつけるのもめんどくさい、トイレの水を流すのもめんどくさい、しまいには歩くのでさえめんどくさかったのである。

だが、仕事には熱心であった。会社からも評価され、出世間違いなしエリートであった。

ある日、会社で会議が開かれた。「今までにない、新しく、便利な機械を考える」という議題であった。めんどくさがりやなSは、とっさに「全自動ロボットはどうでしょうか」と言った。

仕事熱心なSは、知識も豊富であり、ロボットの設計図もだいたひ構想していた。普段から、欲しいと思っていたからだ。

そして、開発から一年、とうとうこのロボットが完成したのであ

る。

Sが実験台となり、どんな効果があるかためされた。

大成功であった。ちゃんと動作してくれる。すぐに、販売が開始された。

値段はしょうしう高めであったが、購入客からは大好評で、その噂をききつけたたくさんのお客様から注文が届いた。

それから約五年後の、とある家庭をのぞいてみよう。

「もういいって。そんなの自分でやるから。」

ロボットが、一人の男のズボンのチャックを下げ、用をたさせようとしていた。また、お風呂に入っている女の体洗いも、ロボットがやっていた。

「痛い痛い。そんなにごしごしこすらなくてもいいよ。」

「あーん、そのプラモは僕が組み立てたかったのにい。」

また、他の家庭では、こんな光景も繰り広げられていた。

「はあ・・・金が少ない。このままでは家族そろって飢え死にだ。」

「いつそのこと、一家心中でもする?」

「冗談はよせよ。死んだらもったいない。母さん、お前も働いてくれ。そうすれば・・・」

そう男が言っているとき、ロボットが大きなシヨベルを体にとりつけ、男と女、それにその子供を持ち上げて、ベランダから落とした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6517g/>

ショートショート：「全自動」

2010年10月28日08時54分発行